

ぎふ感染症かわら版

平成 28 年 7 月 8 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



夏休みに海外旅行をする方は、感染症予防に心がけましょう！

海外では、日本ではかかることのない感染症にかかってしまうこともあります。きちんと予防をして、楽しく安全な旅行にしましょう。

海外での感染症予防のポイント

- **きちんと手洗いを**

感染症予防の基本です。食事前やトイレの後は、きれいな水で手を洗いましょう。



- **生水や生の食べ物に注意**

衛生環境の悪い地域では、水はボトル入りのものを飲みましょう。カットフルーツやサラダ、生魚などは避け、火の通ったものを食べましょう。



- **蚊に刺されないよう対策を**

肌を出さないように服装に気をつけて、虫よけスプレーを使いましょう。



- **動物にむやみに近づかない**

野生動物や街に放し飼いにされている犬に近づかないようにしましょう。

渡航前と帰国後に気を付けること

- ★ 海外へ渡航する前に、行き先の地域でどのような感染症が流行しているか詳しい情報を確認しましょう。



参考となるホームページ

FORTH/厚生労働省検疫所 <http://www.forth.go.jp/>

- ★ 帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、空港や港に設置されている検疫所に相談しましょう。
- ★ 帰国後に症状が出た方は、医療機関を受診する際、必ず渡航歴を話してください。
- ★ 受診方法でわからないことがある場合は、検疫所または保健所にご相談ください。

⚠️ 海外で気をつけたい主な感染症

食べ物・飲み水からうつる感染症

コレラ、赤痢、腸チフス、A型肝炎など

衛生環境の悪い地域では、水が様々な病原体に汚染されていることがあります。水はボトル入りのものを飲みましょう。

海外の屋台などでは、飲み物に入っている氷、カットフルーツやサラダなども現地の水が使用されている場合があるので注意しましょう。

生肉、生魚なども避け、加熱されたものを食べましょう。



蚊が媒介する感染症

ジカ熱、デング熱、チクングニア熱、マラリアなど

ジカ熱は中南米で、デング熱は東南アジアをはじめとする熱帯・亜熱帯地域で流行しています。

流行地域では、肌を出さないようにし、虫よけスプレーを使うなど対策をしましょう。

※ 妊娠中にジカ熱に感染すると、胎児に小頭症などを起こすことがあるため、妊婦の方は流行地への渡航を控えた方がよいとされています。

動物からうつる感染症

狂犬病、^{マーズ}MERS、鳥インフルエンザなど

狂犬病は、日本やオーストラリアなど一部の地域を除いて世界中で発生しています。

犬だけでなく、コウモリなどの野生動物に咬まれることでも感染することが知られています。

野生動物や放し飼いの犬などには近づかないことが安全です。

^{マーズ}MERSは、主に中東で発生しており、ラクダが感染源の一つとされていますので、中東でラクダに触ることは避けましょう。

鳥インフルエンザは、中国や東南アジアで発生しています。

これらの地域では、生きた鳥を売る市場などに近づかないようにしましょう。



人からうつる感染症

麻しん、風しんなど

麻しんや風しんは、世界各地で流行しています。

特に麻しんは、感染力が強く、空気感染をおこすため、流行地では人ごみを避けるなど注意しましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

